様式第１号（第４条関係）

とっとり健康省エネ住宅性能基準適合証明申請書

年　　月　　日

　鳥取県知事　　　　　　　様

（申請者）

　 〒　　　‐

　 住　　所

 氏　　名

 メールアドレス

　とっとり健康省エネ住宅性能基準適合証明制度要綱第４条の規定に基づき、とっとり健康省エネ住宅性能基準適合証明を申請します。なお、この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実に相違ありません。なお、鳥取県から定期点検等の注意喚起について毎年１回メール送信されることを承諾します。

１　建築物の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 申請住宅の地名地番 |  |
| 構造 | □木造　□鉄骨造　□ＲＣ造　□その他（　　　　　　） |
| 階数 | 　　　　　階建て |
| 延床面積 | m2 |
| 建設年月日 | 　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 断熱性能 | 外皮平均熱貫流率ＵＡ値

|  |  |
| --- | --- |
| 計算値 | [W/m2K] |

＜性能区分＞　□Ｔ－Ｇ１　0.48[W/m2K]　□Ｔ－Ｇ２　0.34[W/m2K]　□Ｔ－Ｇ３　0.23[W/m2K] |
| 気密性能 | 相当隙間面積Ｃ値

|  |  |
| --- | --- |
| 基準値 | 1.0 [cm2/m2] |
| 測定値 | [cm2/m2] |

 |
| 再生可能エネルギー | □太陽光発電（自家設置）□太陽光発電（リース）□太陽光発電（ＰＰＡ）□その他（　　　　　　　　　）□設置なし |
| ＺＥＨ認証 | □『ＺＥＨ』＋□『ＺＥＨ』□Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＨ＋□Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＨ□ＺＥＨ　Ｏｒｉｅｎｔｅｄ□認証なし |
| ＺＥＨ－Ｍ認証 | □『ＺＥＨ－Ｍ』□Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＨ－Ｍ□ＺＥＨ－Ｍ　Ｒｅａｄｙ□ＺＥＨ－Ｍ　Ｏｒｉｅｎｔｅｄ□認証なし |
| ＺＥＢ認証 | □『ＺＥＢ』□Ｎｅａｒｌｙ ＺＥＢ□ＺＥＢ　Ｒｅａｄｙ□ＺＥＢ　Ｏｒｉｅｎｔｅｄ□認証なし |
| 長期優良住宅の認定 | □認定あり□認定なし |

※ZEH、ZEH-M又はZEBの認証を受けている場合には、証明書の写しを添付してください。

※長期優良住宅の認定を受けている場合には、認定書の写しを添付してください。

２　建築士事務所及び建築工事業者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 建築士事務所 | 建築工事業者 |
| 事業者名 |  |  |

３　申請に関する連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 所属・氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

４　確認事項

|  |  |
| --- | --- |
| １　換気経路上の使用材料について | 確認欄 |
| （１）床下等が換気経路に含まれる場合には木部の防腐処理剤等について人体に影響の少ない材料を選定している | □ |
| （２）その他、換気経路上において空気中に発散される材料は人体に影響の少ない材料を選定している | □ |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　設備等の清掃の容易性について | 確認欄 |
| （１）空調設備及び換気設備等のフィルターなど定期的な清掃が必要となるものは使用者が容易に清掃できる位置に計画している | □ |

|  |  |
| --- | --- |
| ３　日射遮蔽や日射取得について | 確認欄 |
| （１）開口部は極力南面に多く設け、冬期の日射を取得する | □ |
| （２）東西面の開口部は夏期の日射遮蔽対策を講じる | □ |
| （３）上記に加え、開口部の配置にあたっては眺望やプライバシーの確保に配慮する | □ |

|  |  |
| --- | --- |
| ４　換気における適正な給気量の確保について | 確認欄 |
| レンジフードなど強い排気を行った際に、室内が過度な負圧状態になることを避けるため、以下の対策を講じている。 | □ |
| （１）室内の設備で発生する排気量に対して、適切な給気量を確保できる給気口を設置する等の対策を講じている | □ |
| （２）レンジフードの専用給気口の設置等の有効な対策を講じている | □ |
| （３）横架材の羽子板ボルトなど、外部を貫通する箇所には、適切な雨水侵入防止阻止措置を行っている。 | □ |

５　証明書等の送付先（申請者と同じ場合は記載不要）

|  |  |
| --- | --- |
| 住所（法人の場合は所在地） | 〒 |
| 氏名（法人場合は名称・代表者） |  |
| 担当者 |  | 電話 |  |

様式第２号（第４条関係）

気密性能試験結果報告書（１）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 依頼者 | 会社名又は氏名 |  | 電話 | -　　- |
| 住所 |  |

|  |
| --- |
| 測定対象建築物の概要 |
| 建築物の名称 |  |
| 所在地 |  |
| 竣工年月日 | 　　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 構造及び工法 |  |
| 建築物の規模 | 地階床面積 | m2 |
| １階床面積 | m2 |
| ２階床面積 | m2 |
| ３階床面積 | m2 |
| 延べ床面積 | m2　　・・・・・(A) |
| 開口部の仕様 | 窓 | 単層（引き違い、外開き、内開き）２重窓（引き違い、外開き、内開き）その他（構成と開閉方法：　　　　　　　　　　　　　） |
| 玄関戸 | 引き戸、外開き戸、内開き戸、その他（　　　　　　　） |
| 主な部位の気密層の仕様 | 防湿フィルム（気密テープ：使用・不使用）内装材、断熱材、構造材、その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 建築物概要図 | 別紙添付図面通り |
| 通気量を測定した位置 | 添付平面図に示す |

|  |
| --- |
| 測定時の建物条件 |
|  | 部位 | 方法 | 確認 | 特記事項（左欄以外の処理方法） |
| １ | 建物外皮にあるドア・窓 | ロック（施錠）だけ |  |  |
| ２ | 天井・床下改め口 | 普通に閉めた状態 |  |  |
| ３ | 郵便受け | 普通に閉めた状態 |  |  |
| ４ | 基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア | 普通に閉めた状態 |  |  |
| ５ | 換気レジスター | 目張り |  |  |
| ６ | 台所レンジファン | 目張り |  |  |
| ７ | 換気扇・天井扇 | 目張り |  |  |
| ８ | FF 式以外の煙突の穴 | 目張り |  |  |
| ９ | 屋外に通じる排水管 | 封水又は管口を目張り |  |  |
| 10 | 集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口 | 目張り |  |  |
| 11 | 建物外皮の外側にある開口部 | 普通に開けた状態 |  |  |
| 測定対象外にした部分(空間)の名称 |  |
| 同上で延床面積(A)に含まれる床面積 | m2　　・・・・・(B) |
| 吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積 | m2　　・・・・・(C) |
| 測定対象とした建物の実質延べ床面積(S) | S=(A)-(B)+(C)=　　　　 m2 |

注）確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと

気密性能試験結果報告書（２）

|  |
| --- |
| 測定者・測定方法・測定装置 |
| 事業所 |  | 事業所登録番号 |  | 測定者 |  | 登録番号 |  |
| 所在地 |  | 電話 | -　　- |
| 測定方法 |  |
| 測定装置 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 試験日時 | 年　　月　　日　　　時　　分から　　　時　　分まで |
| 測定時の環境 | 天候 |  | 風速 | 　　　　m/s |
| 室内温度 | 　　　　　　℃ | 風向（主風向） |  |
| 外気温度 | 　　　　　　℃ | 風速測定位置 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| データの測定回 | １回 | ２回 | ３回 | 平均 |
| 隙間特性値：n(1≦n≦2）1-n |  |  |  |  |
| 通気率：a：（m3/h・Pa ） |  |  |  |  |
| ΔP=9.8Paおける通気量：Q9.8：（m3/h）1-n |  |  |  |  |
| 係数：b：b=0.627ρ |  |  |  |  |
| 総相当隙間面積：αA：αA=Q9.8×b(cm2) |  |  |  |  |
| 相当隙間面積：C：C=αA/S(cm2/m2) |  |  |  |  |

測定結果添付欄

様式第３号（第４条関係）

建築物の性能及び建築物の使用に関する説明書

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物の所在地 |  |
| 外皮平均熱貫流率(ＵＡ値) [W/m2K] |  |

（参考）住宅における省エネ性能基準

暖

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 性能レベル | 等級４(国省エネ基準) | 等級５（ＺＥＨ） | とっとり健康省エネ住宅性能基準 |
| Ｔ－Ｇ１ | Ｔ－Ｇ２ | Ｔ－Ｇ３ |
| 基準の説明 | 2025年義務化基準 | 2030年義務化基準 | 冷暖房費を抑えるために必要な最低限のレベル | 経済的かつ快適に生活できる推奨レベル | 優れた快適性を有する最高レベル |
| 断熱性能ＵＡ値 | 0.87 | 0.60 | 0.48 | 0.34 | 0.23 |
| 気密性能C値 | - | - | 1.0●フランス(0.36)●英国(0.42)●米国(0.43) | 1.0 | 1.0 |
| 世界の基準 | ●日本(0.87)寒 |

建築物の使用に関する説明

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 項目 | 内容 | 確認 |
| 換気設備 | 清掃が必要な個所 |  | □ |
| 清掃方法 |  | □ |
| 清掃の頻度 |  | □ |
| 交換が必要なもの |  | □ |
| 交換方法 |  | □ |
| 交換の頻度 |  | □ |
| 空調設備 | 清掃が必要な個所 |  | □ |
| 清掃方法 |  | □ |
| 清掃の頻度 |  | □ |
| 運転方法での留意事項 |  | □ |
| 改修を行う場合の留意事項 | 履歴保存 | 工事の図面等は必ず保存してください。 | □ |
| 気密処理 | 改修や設備の更新を行う場合には、気密処理を確実に行ってください。 | □ |

　　　　　年　　　　月　　　　日

　上記について説明を受けました。

　　 建築物所有者氏名